

## 徳島地方気象台長からのごあいさつ



徳島地方気象台ホームページをご利用いただき、ありがとうございます。

令和7年4月より徳島地方気象台長となりました小畠 豊（おばたゆたか）と申します。よろしくお願いいたします。

昭和51年台風第17号

では県内各地で土砂災害や河川の氾濫が発生して10名の方が亡くなるなど、大きな被害が発生しました。徳島市で生まれ、鮎喰川から吉野川の川辺を遊び場に使っていた私自身も、大雨により溢れそうになっている鮎喰川を自宅マンションの窓から見て、子供ながらも不安を覚えたことを記憶しています。

近年、徳島県では台風や大雨による大きな災害は発生していません。しかし地球温暖化の影響によって全国各地で気象災害が発生し、毎年のようにテレビニュースや新聞で報道されていることは皆さまもご承知のとおりで、徳島県も何があってもおかしくありません。また、南海トラフ沿いで発生する巨大地震も懸念されているところです。

徳島地方気象台では、県民の皆さまの生命を守るため、徳島県をはじめとする自治体等の防災関係機関や報道機関の皆さまと連携して適切な情報発信を行なうとともに、日頃から地域防災力の強化を図り、気象災害や地震災害の防止や軽減に努めてまいります。

今後とも徳島地方気象台をよろしくお願いいたします。

令和7年4月  
徳島地方気象台長 小畠 豊